

系	統	2液型エポキシ樹脂系接着剤
特	長	1) 常温硬化型で、取り扱いが容易。 2) 塗布作業性が容易で、規定の膜厚の保持が可能。 3) 接着性に優れる。
用	途	1) プレキャストコンクリートブロック接合目地接着用 コンクリート標準示方書 土木学会基準「プレキャストコンクリート用エポキシ樹脂系接着剤（橋げた用）品質規格（JSCE-H 101-2001）」適合品
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 7：3 （重量比）
荷	姿	10kgセット （主剤／7.00kg、硬化剤／3.00kg）
外	観 性 状	主 剤…白色粘稠液状 硬化剤…黒色粘稠液状 混合物…灰色粘稠液状

## 可使時間の目安

タ イ プ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 [°C]	5	15	20	30
可 使 時 間 [分]	120	80	60	30
プレストレス可能時間[時間]**	7	4	2.5	2

※コンクリート標準示方書 土木学会基準（JSCE-H 101-2001）に基づく可使時間

比	重	1.10～1.70 （硬化物）
貯	蔵 保 証 期 間	12か月 （未使用、冷暗所保存）
消	防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
毒	物 及 び 劇 物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 Sタイプ：該当しない、Wタイプ：該当する
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ブロック接合部分は、表面処理を行い、平滑に仕上げる。 4) 塵埃、油脂、はく離剤などを除去し、乾燥する。 5) 可使時間内に、接合するブロックの双方の面に1mm程度の厚さに塗布する。 6) プレストレス可能時間内に、少なくとも第一回のプレストレスングを終了する。
使	用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去） 2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 3) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意
-------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。</li> </ol> |
|--|